



子どもと森林は、いずれも地域の将来にとって欠かすことのできない宝ものです。



このシンポジウムでは、自然観察、作業体験、木育、クラフト等、お互いを積極的に交わせる取り組みの最前線をご紹介します。



それぞれの健全な成長を促すために、いま何が求められているのか、どのような可能性があるのかを、一緒に考えてみませんか？



国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」助成シンポジウム 子どもと森のルネサンス ー育てよう 地域の宝ものー

日時

平成
28年

10月1日(土)

開場: 12:30 / 開演: 13:00

場所

東京大学弥生講堂

一条ホール(文京区弥生1-1-1)

地下鉄南北線「東大前」徒歩1分

プログラム

入場無料：どなたでも参加できます(事前申込みをお願いします)。

前半 13:00～15:00

- 13:00 開会の挨拶(シンポジウム実行委員会)
13:15 第1報告: 若杉浩一氏
(パワープレイス株式会社 シニアディレクター)
「都市と地域と子どもをつなぐデザイン
ー日本全国スギダラケ倶楽部の活動ー」
13:50 第2報告: 井倉洋二氏
(鹿児島大学農学部 准教授)
「体験から学ぶ森と川のパログラム
ー演習林における小学校の総合学習ー」
14:25 第3報告: 高橋直樹氏
(北海道中川町産業振興課 主任)
「北海道の森の恵みを都会の子どもに」
15:00～15:15 <休憩>

後半 15:15～18:00

- 15:15 第4報告: 福田珠子氏
(全国林業研究グループ連絡協議会
女性会議 相談役)
「保育園児への自然労作保育」
15:50 第5報告: 馬場 清氏
(東京おもちゃ美術館 副館長)
「人生の門出を木のおもちゃとともに！
ーウッドスタートで生涯木育を推進ー」
16:25 パネルディスカッション
座長 山本信次氏(岩手大学農学部 准教授)
18:00 閉会の挨拶(林業経済研究所)
18:10 懇親会(弥生講堂一条ホールロビー)
お気軽にご参加ください。(会費をいただきます。)

主催

「森林・林業・山村問題を考える」シンポジウム実行委員会

後援

林野庁、(研)森林総合研究所、林業経済学会、(公社)大日本山林会、全国森林組合連合会、(一財)日本森林林業振興会、(一社)全国木材組合連合会、(一社)日本林業経営者協会、(一社)全国林業改良普及協会、(一社)日本森林技術協会、(一社)日本林業土木連合協会、(一財)日本木材総合情報センター、(一財)日本緑化センター、住友林業(株)、(株)日本林業調査会、認定NPO法人自然環境復元協会、全国山村振興連盟、(一財)地球・人間環境フォーラム、(株)農林漁業成長産業化支援機構、全国国有林造林生産業連絡協議会、日本製紙連合会、(一社)農山漁村文化協会、森林インストラクター東京会(順不同)